夕刊
新京日日新聞
大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可
昭和八年一月二十三日（月曜日） 第三千六百二十二號 （一）
二十二日發行（日刊）
定價 一部金三錢 一箇月金八十錢 郵税 一箇月金十五錢
新京永樂町四丁目一番地 發行所 新京日日新聞社 電話三〇〇〇番・三三五三番
發行人 十河榮忠 編輯人 松本男 印刷人 谷啓二郎

日本橋通驛前 中谷時計店 電話二八五四

路線幹線 [illegible]

貿易組合の設立を決定す
全滿輸入組合協議會

全滿輸入組合理事協議會は二十一、二十二の兩日に亘り新京ヤマトホテルに開會熱心に協議懇談を重ねたが二十二日午後四時漸く散會、終つて各理事は連れ立つて新興政治都市の視察に赴いたその議事内容左の如し

一、見本市開催地に就ては奉天、大連間に議論沸騰決定に至らざるも大勢は大連説に傾き最後決定は聯合會の採決による模様

一、消費組合各府縣貿易館の出進により壓迫される小賣及び卸賣在滿邦商の對策として取敢へず滿洲向貿易商を以て組織する貿易組合を設け販路の擴張に資することゝし小賣商の爲には販賣組合を組織する

一、滿洲國關税改正に就ては各地輸入組合及聯合會にて具体的意見提出濟の處之が促進を計る旨申合せ

一、滿洲國消費組合設立問題に關しては輸入組合として何等なふべき筋合に非ずとし内部的に之が調査を圖ることゝなつた

呼海沿線の救濟に
食糧品無賃輸送

【ハルビン廿日發國通】呼海沿線一方は水災に次ぐに兵變の厄に遇ひ家屋は殆ど半數を焦土と化し食糧の缺乏甚しく目下呼蘭、綏化の救濟委員會は積極的救濟につき活動中だが今回ハルビン電政局に對して救濟に關する電報の無料發信を請願する外呼海鐵道に對し救濟用食糧品の無賃輸送方を請願したが呼海路當局に於て近く之を許可し無賃輸送を開始すると

盛大を極めた
寛城子の第九回レーニン記念祭

寛城子に於ける赤系露人のレーニン第九回記念祭は二十一日午後五時より東支鐵道倶樂部で盛大に行はれた、此日新京在住赤系露人は彼等の偉大なるアイドルであり神なき國の神、ウラヂミル・イリッチ・レーニンの死を記念すべく續々會場たる寛城子東支倶樂部に詰めかけた、會場大ホールには正面にレーニンの像を掲げ勞農國の象徴たる鎚と鎌で之を飾り壁面には「ソヴエート全土の赤化」「產業五ケ年計畫の成功萬歳」「イリッチは常に我等と共にあり」等々のスローガンが張りめぐらされ紅彩色の華々しい裝飾の新興ロシアの雰氣を見せてゐる、午後六時先づ映畫鑑賞會が開始されたが當局の注意もある事とて流石にソヴエート映畫は禁ぜられ帝政時代を再批判する意味でエカテリーナ女皇を主材にした名畫「女皇の寵臣」が上映された

午後八時映畫が終るや、老いたる黨員も、血氣に燃えるコムソモールもパールシニヤ達も一杯に食堂に參集し、追憶談に話をさかし、午後十時「ウラーソヴエート」を高唱盛會裡に散會した

尚ほ二十二日には小さい者にもレーニンの印象を深く刻みこませるために兒童の劇の會を開催す

裝甲自動車を運行
特產出廻補助

いよ〳〵陰來と舊正月がさしかゝつて掠奪を目的にする匪賊出沒のため特產出廻を妨害すること甚しく既に新京近郊は新京警備〇〇隊の逐次出動により不安は一掃されつゝあるが范家屯南方山地帶の匪賊出沒は今春來特に甚しく該方面村落の特產はそのまゝ出荷し得ざる狀態にある、これがため地方農民間には裝甲自動車の運行警備を要望するもの多く、范家屯の商務會は農民のため右費用の支出方法を講じこれが實施をはかり舊正前に一部出荷をなさしむるに至つた、即ち實業部並に民政部に右事情を請願し裝甲自動車一台を借用、更に公主嶺守備〇〇隊に警備方法を嘆願して許可を得ると共に懷德縣公署よりは公安隊の應援を得ることゝし十九日から左記プランにより裝甲自動車の警備運行を實現してゐる因に右實施費用充當として每出荷一石に對し大洋十二仙を徵收する事になつて居るが農民間では警備運行を非常に喜んでゐる

運行日	目的地	范家屯よりの距離
十九日	劉家店方面	東南六十支里
二十日	西尖山子方面	西南七十支里
廿一日	南双廟子方面	正南六十支里
廿二日	臥虎山方面	東南四十支里
廿三日	伊通邊門方面	東南七十支里

國難危急の「大局に當面して」
昭和八年建國祭委員長 丸山鶴吉

日本建國の大精神は、三種の神器、寶鏡と、曲玉と、天の叢雲劍に表徵される、實に、正義と、仁愛と勇武とこそは、天照大御神の皇孫に傳へ給へる、發國以來の大精神にして、皇道日本の人格即國格の核心でもあり赤神髓である。

乃ち、われ等の祖先は、常に明るく、正しく、強く活きた、そして現代をわれ等に授けた若し彼の維新當時、一國政體變革の激動せる危急の時期に際會し、此の祖國傳來の、明るく、正しく、强き信念を缺いて、誘惑さるゝがまゝに外力を援きれ資にたより、黃金と阿片に惑溺してゐたとしたら、果して皇國日本今日の健全なる發展が所期し得られたか否か疑問である。祖先の血液に活きるわれ等は、單に此の一事に徵しても、此の曠古の國難的危局に當面して、特に全國的に建國精神の興起を望まざるを得ない。

苟しも、明るく、正しく、强き建國の大精神を遵奉體現せる日本の國と民との上には、天佑常に人智の外に在りて之を護り給ふ。如何なる困難に遭遇するも、遲疑するを要せぬ、悲觀してはならぬ、斷じて屈撓することなく、一路建國精神に往在して驀自に邁進すべきである。過去において、われ等の祖先が、國難に際會する每に一大勇猛心を振作して、上下一心、君民俱に休戚を與にして、必ず國難を排除し、轉禍爲福、彌强く、彌尊く、年と共に益々國威を發揚し國運を進展して、現代日本の國礎を海東に確立したではないか。

神武大帝の御創業は、降つて大化の革新となり、明治維新となり、今やまさに昭和更生の新たならんとして、皇道日本の英姿、さながら旭日の天に沖するごとく、遍く照して糸毫の曲陰を許さずる、眞に世界の壯觀たるを失はぬ。われ等は、此の天祿に鑑みて、天業瑞祥の氣、必ず先づ東方日出づる國に發動する、發動せざるべからざる世界的宿命に深き〳〵感激を禁じ能はざるものである。

此國、現に、日出づる東方に位置して、世界的に天の瑞祥の泉源を爲す。その民又まことに明鏡のごとく、純情玉のごとく、威烈劍の如く、不義不正を惡むこと、たとへば鏡上一塵影を許さざるに似て、しかも溫平玉にも比すべき醇正なる仁愛の人情は、血あり淚ある任俠の義氣を育成して萬死尙辭せざるべき炎々烈々たる士風と鍛格とを結ぶ。世界に國を立つるもの六十に餘ると雖も、皇統連綿、一系萬古に亘るわが皇室の如き尊嚴にして神聖なるもの宇內いづれの所にか存す。奉公の赤誠九千萬たゞ一心の國民、亦まさに世界いづれの所にか求むべき、われ等此國に人となれる恩寵に感激して、衷心より此の天與の好運命を祝福せざるを得ぬ。

想へば、去秋、世界に率先して、皇國日本が隣邦新滿洲國を承認し、此の新たなる友邦の建國を歡迎したる所以のもの、畢竟、仁愛を四海に布かむとする我が建國精神の一の發現に他ならぬ。彼の張家私閥が、天を畏れず、人を憚らず、哀々無告の三千萬衆に加へたる誅虐は、多年天人の憤る所明るく、正しく、强き仁愛正義の國と民、豈垂拱して其の恣意妄行を坐視せんや皇軍一たび起つや、凱神一擧朽木の指頭の一彈に倒れ去るがごとく、張家私閥もろくも滅落して、三千萬衆歡呼の裡に新國家忽ろに成る。此れ天理なり公法なり。豈ただに滿蒙四省の疆土に限らんや、苟くも世界に國して誅虐を擅にする國土と民人は、みなわが日出づる國日本の威烈の前に厨消すべきこと、邪は正に勝たざる天理公法の嚴正なると選ぶところは無い。

世界の局面を觀れば、萬邦舉げて不安動搖、國も人もみな遑々として歸趨に惑ふ。中に驕れる國あり虐げられたる民あり、驕れる者久しからず虐げられたる者必ず救はれむ何となれば、地上の御、正義仁愛の日本、海東に國して建國の大精神、日に、月に、歲に、彌長く彌尊きを致すが故である仰ぎ長くも、明治大帝が其の聖詔において「億兆心を一にし世々厥の美を濟し天壤と共に窮る所無し」と宣らせ給ひたる、實に萬古不動のわが建國精神を宣揚したまへる世界的大宣言にこそおはさめ、今や、滿洲問題は、世界の視聽を集めて衆論群議を見ると雖も、わが皇道日本の正義と仁愛は遠からず世界の正當なる認識を博すべきこといふまでも無い。われ等は徒らに他の鼻息を窺ふを要せぬ。須らく建國の大精神に覺醒して、みづからの頸を引締しめ足許を堅め、露堂々、雄々しく世界の前に仁愛正義の步みを進むべきである。それには、先づ二十餘年前、國土と民人とを合併したる朝鮮同胞二千萬人との心からなる融和結合と、新滿洲國三千萬民との提攜親善である。若し眞に建國精神の敷衍擴充に依り、東方一億二千萬民、愛を同ふして一心一體の實を擧ぐるを得ば、支那四億萬民を善導して、其の毒禍を剝ぐ軍閥者流の惡政より解放し、仍て以て友邦善隣の誼を致すのみならず、進んで皇化を三億萬の印度教徒、二億五千萬の回教徒に及ほすべく、斯くて亞東十二億萬民、みな皇國日本の仁愛と正義とに信賴し、德化の惠澤に霑はふの日、始めてわが皇國日本は東亞全局に名實ともに盟主たるを得む、斯くてこそ「兆心を一にし、聖旨の「世々厥の美を濟す」所以にしてわれ等の任務は、眞に深く〳〵て又大なりと云はねばならぬ。今ここに、皇紀二千五百九十三年の紀元節を迎へ、建國祭に臨んで建國創世の太古を追念しわれ等仁愛正義の民、何を爲すべきかを顧みる時、曠古空前の大時局に當面したるわれ等九千萬民の好運命を祝福すると共に各人齊しく建國の大精神に覺醒して、わが國體の尊嚴と、わが日本帝國の大使命を彌長く彌尊く、世界の前に發揚せんことを熱求して休まざるものである

怪人凱歌（百二十五）
（舞臺上演）（映畫化） 須藤鐘一（作） 瀧秋方（畫）

[illegible]（七）

千鶴子は自動車に乘つてしまつてから、あゝしまつたと思つた。が、もう遲かつた。

斯くして遂に彼女は、此の恐るべき品川はづれの魔の家に閉ぢこめられる身となつた。

千鶴子は其の秘密と關係する男をこれまで曾て見た事もなかつたのであるが、やはり兄の遊び相手の撞球屋とかの連中が、後で糸を引いての仕事にちがひないと想像した。

しかし、もう斯うなつては、それよりも先づ、此の家をどうかして一刻も早く逃げ出すことをかんがへねばならぬと、彼女は心をきめた。

が、容易に、うまい工夫も浮かばなかつた。

彼女はふと、或る時、新聞で讀んだ話を思ひ出した。それは誘拐されて海外に賣られて行く少女が、自分のセツパつまつた環境を簡單に記した紙きれを、空壜の中に押しこんで、海に投じたといふのであつた。

その壜が波のまに〳〵流れて漁船か航海の汽船に發見せられ、そして救はれようといふ、如何にも頼り少い手段であるが、その少女には、もうそれ以外の、聊かの方法も殘されてゐなかつたにちがひない。

最後の、たつた一つの其の方法が、果して成功したか、どうかを新聞は其の後、報道しなかつたが恐らく其の壜詰の手記は無事に拾い出されたのだらうが、無緣の方では何といふ船で、いつ何處へ行くものとも分らなかつたので手の下して見ようがなく、そのまゝに終つてしまつたであらうと思ふ。

其の壜の見つかつたのが、まだしも不思議なくらゐである。壜も發見されず、又壜に手記をつめて流すほどの隙をすら掴むことが出來ないで、みす〳〵悲慘の運命となつてしまふ女が、世の中には幾人あるか知れないのだ――

千鶴子は、今、自分が試みようとする方法も、その海に壜を流すのと、あまりけじめはないやうに思はれて、頼りない氣がした。しかし、茫洋たる大海とちがつて、人の往來の頻繁な地上での試みであるから、發見される可能性はずつと多い譯である。

彼女の考へたのは、紙きれに自分の今のゐる場所と、危險の迫りつゝある事を、簡單に認めて、窓から、往丁へ投げ出して、誰かに拾つてもらふといふ方法である。運よく、それを拾つた人が開いて見てくれて、書いてある文字を讀み、交番に屆けるか、親切な人で宛名の人に送つてくれるなら、自分はきつと救ひ出される。

が、たとひ拾つても唯の反古かいたづら書と思つて、そのまゝ捨ててしまはれては何にもならぬ。いや、それまでにされないで心ない人の土足に蹂躙されてしまふかも分らない。

彼女は、小さい紙きれに何と認めたか。此の計畫を誰にも知られたくなかつたので、ほんの小さな紙きれに、文句も極々簡單に、

『お助けください。わたしは今、惡人のためにおしこめられてゐます、いづれ近いうちに恐ろしい目にあふにちがひありません』と書いた。

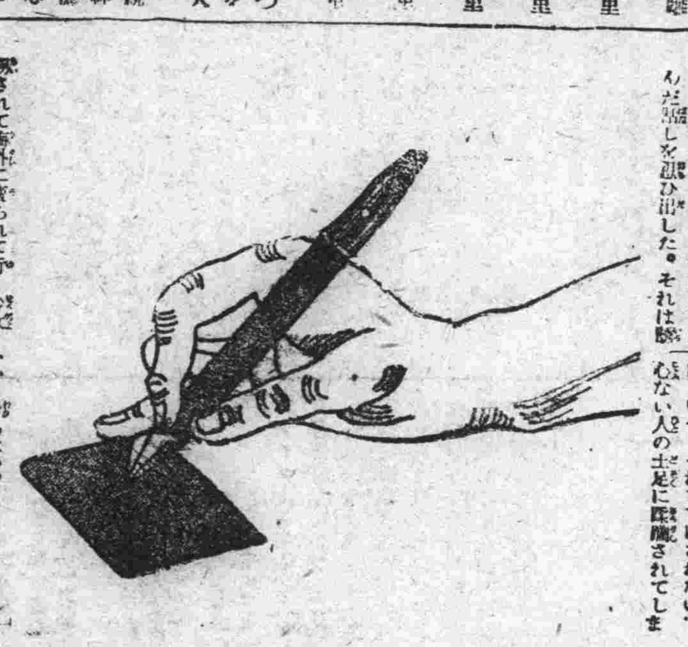
そして此の家の所番地を書き入れたかつたが、それは分らなかつた。車で閉じ部屋に監禁されてゐるから、こゝは品川のはづれだといふ事を聞いてゐたので、

『品川の魔の家にて、山路千鶴子』と記した。

宛名は何としよう。兄の信雄にしようかとも考へたが、やはり眞佐子の方が確實なやうな氣がしたので、銀座ヴイナス美容院の藤田眞佐子に宛てた。

紙片は細かく折つて、偶然持ち合せてゐた小さな西洋封筒に入れ表記の傍らへ、

『之れをお拾ひの方は、どうぞ宛名の所へお屆け下さい』と書き添へた。



大阪商船出帆
門司、神戸（大阪）行（每偶數日午前十時出帆）
はるぴん丸 一月廿二日
香港丸 一月廿四日
うすりい丸 一月廿六日
ばいかる丸 一月廿八日
亞米利加丸 一月三〇日
うらる丸 二月 日
●切符發賣所 滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビューロー案内所
●船車連絡切符 汽車二割引、汽船一割引 通用期間二ケ月 大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符ハ復路運賃二割引通用期間三ケ月）
●專屬荷扱所 各地國際運輸會社支店
大阪商船大連支店

日日案内
三行 一回金五十錢 被雇度 一回金三十錢
五行 一回金八十錢
十行 一回金一圓五十錢
姓名在社 一回金十錢增
御申込みは電話三二〇〇番

質は三浦屋
貸出勉强、保管確實、洋服類各種揃ひました 破格提供
新京祝町三丁目三（花前） 三浦屋質店 電話三七七五番

小口金融
月賦、日賦、其他御相談に應じます
新興社 祝町二丁目四番地（西本願寺向右隣）

急告
襖張替新調 迅速、叮嚀 大勉强
長春東二條通十六番地 文藻堂 青井表具店 電話三四六四番

上等下宿空間有り
下宿問合せは組合事務所 滿日館へ
東五條通り 電話三八〇二

都山流 尺八指南
初心の方歡迎す 師範 西田方山（ヤマトホテル裏）

洋帳簿 各種製本專門
三笠町三ノ九 三省堂製本所 電話三三三四番

▲職業紹介
無職ニ困窮シタル者ヲ救濟ス並ニ求人求職者ハ無料紹介ス
新京勞動保護會

ほねつぎ專門
今辨慶療院 新京室町公學校前

印刷
長春朝日通 三友社 電話三四三八番

益々眞價を發揮し一般大衆の愛好する
高級リノール蓄音器！
大量新着！
破格割引斷行!!
賣り切れぬ内御早く御買上げ下さい
小型蓄音器 金八圓
普通型蓄音器 金拾五圓 金拾八圓 金廿五圓
ポータブル 金拾九圓
グランド蓄音器 金四拾五圓
どんなに見積つても八拾圓の價値あるもの
◎高尙なる體裁 ◎明朗なる快音 ◎堅牢なる器械 ◎絕体的廉價

小供さんの爲めに家庭娛樂の福音
新案ベビートーキー
活畵を縮寫せるもの 愉快々々

レコードの勢揃
どれでも金六拾錢
賣切れぬ内早く御買上げ下さい

消防隊橫 泰利號雜貨部 東一條通り三十番地 電話二七六〇
御婦人御小供さんの新春用新柄洋服地澤山着荷致しました 御一覽下さいませ

高級自轉車大量新着
乘心地よい 堅牢無比なる
スター號 金二十七圓
正宗號 金四拾二圓
運搬車 金三十三圓
右多數着荷致しました 御試用願ます
新京日本橋通り橋詰 泰利號本店 電話三一六九番

御旅行者及一般の御便宜を計る爲左記取扱を致しますから御利用願ひます
一、長春驛發送手荷物、小荷物の蒐集及代理託送
二、同到着驛留小荷物代理引取及配達
右一切迅速確實に取扱ひ致しますから御用の節は電話か葉書にて左記に申込み下さい
新京中央通十一番地 谷口商會（通濟運輸公司） 電話三三四一番
尙申込は小荷物扱所（社內二二四番）にされても宜敷うムいます

石炭 松茂洋行 電話 二〇四二 二五三七 二五六二

木工部 增設廣告
今般左記の通り木工部を增設致しましたから何卒一層の御引立を御願申上ます
營業科目 床、柱置床 風呂桶 和洋家具類 其他木工請負
◎床柱、柱框、落掛は澤山調製致して御座います
新京梅ケ枝町三丁目 大山木廠 同木工部 電話三一一一番

新柄多數入荷
ガクブチトアルバム
輸入組合加盟店
乾寫眞館販賣部 吉野町二丁目 電話二三九〇番

長春美容院

洋結髮 美顏術 化粧法 社交服着付 婚禮衣裳着付
吉野町市場前ミツワ屋書店內 電話二三三一番

帝國議會

再開第一日の衆議院本會議

政友濱田君先づ突擊

（東京廿一日發國通）濱田國松君は二時四十分登壇、所謂非常時を解剖し政治機構の變態的現象を論難して後

一、國民思想動搖即ち共產黨の裁判所、華胄界、軍隊内への波及とテロ化
二、政府の選擧法改正の不徹底
三、國際外交上の重壓
四、日滿經濟統制經過
五、九月十四日から一月十四日に至る日銀の公債證券二億七千萬圓といふ急激な賣出し、インフレーションの效果、減債の失態

を糺彈し一時間半に近い長廣舌あり、四時降壇

首相登壇

憲政の圓滿なる發達は自分も望むところで政黨の健全なる發達も亦然り、共產黨事件に對しては出來るだけ善處したい、五、一五事件の發表は未だ出來ない

とあつさり答辯し、法相も亦五、一五事件は未だ發表出來ない

と述べるや、濱田君再び五、一五事件で首相に迫つたが答へず、更つて大口喜六君登壇

公債の多額なるに對し徒らに反對はしないが九年十年度更に將來の財政は如何にするか

と前提し

豫算の細目論に入り兵備改善費、滿洲事件費、時局匡救費、爲替差損金と之等の將來の財政計畫に及ぼす影響如何、將來の行財政大整理調査會に對する藏相の決意如何

更らに一般經濟問題に轉じ一體政府は物價、通貨を何の程度を以つて妥當とするか、藏相は何故爲替の急激な下落を防止するか、爲替が不自然に騰貴したら如何するか

と述べ、之に對し藏相は刻下の情勢から確たる將來の財政計畫の見透し不可能なることを滔々所信を披瀝して回答、次いで川崎克(民)登壇

八年度豫算は公債による結果財政基礎を薄弱ならしめ爲替激落の因を爲した、公債は永久の負擔增である、平價切下げは外債の金拂ひであるは以上大なる利益とならない、之が打開策は歳出膨脹抑制歳入を恒久財源に待つ外なし、非常時國民は非常時に際して如何なる非常負擔を爲したか、關稅保護、爲替下落により利得を得た者は當然非常時負擔を爲すべきだ、藏相は爲替二十弗前後を以つて妥當と爲すや、吾人は然か信ぜず、爲替安定は國際貸借改善、財政基礎確立、國内信用恢復に待つ外なし、爲替の低落、過度の通貨膨脹、庶民生活の脅威であるが、之が防止策として本年度募集公債十四億の日銀引受けを制限し普通銀行に引受けさせること今年度歳出抑制、公債政策緩和に就いて政府の所見如何

（以下明日）

高橋藏相の財政方針演說

公債政策を强調す

（東京二十一日發國通）高橋藏相の議會演說は左の如し

昭和八年度歳出は二十二億三千四百萬圓餘で到底全部を普通歳入で補塡出來ぬが增稅その他の增收計畫は、經濟回復の緒についたる今日その時期でないと考へるから凡て公債によることとします、一般經濟界近狀は世界各國今尙は悲況に懊惱して居り前途の見透し困難であるが我國は歐米と異り戰債賠償の困難なく對外債務も大ならず有利の地位にある、金輸出禁止以來對外爲替は低落したがその原因は國際收支の實勢よりも滿洲問題を中心とする國際負擔と、貨膨脹の懸念からだが其の結果自然輸出を奬勵して新販路を開拓したが餘りに低落せば弊害があるので逃資防止法より一歩を進めて爲替管理法を提出した財政上多額の公債發行豫定あり通貨增發され由々しい結果を招來せぬかと疑念され居るが所謂通貨の合理的統制を目的とし日銀をしてインフレーションの弊を防止せしめ居り弊害なし

現下の難局は皇道宣揚の絕好機會

―陸相貴院で演說―

（東京廿一日發國通）貴院本會議で齋藤總理、内田外相の演說の後二荒伯は

我國民が如何なる信念で非常時に處するか國家の己性を强調する事が必要だ

と前提して『國家己性の尊重は國民精神を發展せしむる國家主義で平和主義である』と論じ、之に對して齋藤總理は同感の意を表し文相は『古典研究と共に中外にもとらぬ精神涵養が必要だ』と述べ、荒木陸相は

現下難局は國民の自覺を世界に知らす絕好の機會だ

と皇道宣揚方針である事を述べ、大角海相も『陸相同樣』と答へ、永井拓相は『外地に於ても内地同樣』と答へ、二荒伯は再質問を留保して散會した

戰傷五百例に就いて〔滿洲醫學會支部總會の講演〕

新京陸軍病院長　高原軍醫正

本演題の下に二十一日滿洲醫學會新京支部總會に於ける講演の要旨左の如し

滿洲事變勃發以來我病院に收容した患者は戰傷四六四名凍傷九一名傳染病二一名平病七〇二名合計一二七八名である此の他ハルピン方面又は吉敦方面より後送せられた患者中停車場に於て受取り一診の上直ちに後送した患者即中繼患者が一〇三八名ある故に私の取扱つた患者總數は二三一六名に達する

×

右の内戰傷四六四名に就て以下少しく觀察するに第二表の如く戰傷の創傷の種類は銃創が最も多くして約七七%、次が砲創の約一五%、白兵創（刀槍の創）が約三%、爆創が約二%であつて日露戰役の統計と大差はないが白兵創が日露戰役に比較して約三倍も多いのは注目に値することである是れは彼の刀槍等を振りかざして勇敢に我に抵抗した大刀會匪、紅槍會匪を敵としたことに因るのである

×

又此の私の統計を日獨戰役及歐洲大戰の統計と比べると銃創砲創の頻度が全く相反してゐることが明である即私の統計では銃創は非常に多くて砲創が少いのであるが日獨戰役や歐洲大戰では砲創が非常に多くて銃創は砲創よりも遙に少いのであるこれは即ち滿洲事變に於ては敵に有力な砲兵が居らなかつたことを物語るものである

×

次は受傷部位即ち戰傷者は身體のどの部分に多く傷を受けるかを調べて見ると第三表の如く下肢の受傷が最も多くて上肢が之に亞ぎ胸背部、腹部骨盤部、頭部、頸部と云ふ順序であつて日露戰役の統計と比べて大差ないのであるが日露戰役に比して頭部の創傷が非常に少いのであるこれは我病院は事變發生當初には戰線から直接傷者を收容する場合が多かつたが其後に於ては傷者は野戰病院衛生班等の第一線衛生機關に先づ收容せられてそれから我病院に送られたものが多かつた爲頭部に受傷したものの重傷の者は我病院に來る迄に既に鬼籍に入るものが多い爲めに我病院に來るものが少いと云ふことが私の統計に於て頭部の受傷の少い一つの原因であるが又鐵甲を用ひることも頭部の受傷の少い一つの原因である

×

次は受傷組織及臟器であるかこれは披膚筋肉と云ふ樣な軟部の受傷が最も多くて四肢骨の損傷が次に多い事は第四表の示す通りである又日露戰役の統計と比べても大差ないのである次は戰傷者の轉歸即ち我病院に收容して戰傷はどの位治つてどの位鬼籍に入つたかと云ふことであるが治癒りは經過は良かつたが治つた後でも將來再び戰斗部線に復歸し得る見込のないもの其他治癒する迄に二、三ケ月或ひはそれ以上も日子を要する等でこれは内地や又他の後方の病院に送つたのであつてこれに屬するものが約七〇%ある此の後送傷者の此の樣に多いのは我病院が戰線に比較的近接してゐる爲と收容力が以前あまり多くなかつた爲めに新しい傷者を受入れる爲めには古い傷者はどしどし後方に送らねばならなかつた即ち傷者の新陳代謝を盛にしなければならなかつたからであるしかしながら

×

我病院の戰傷者の治癒率死亡率等を日露戰役の統計に比べて敢て遜色を見ないのは同慶の至りであるなほ吾々が最も同情を禁じ得なかつたのは右腕と左腿とを切斷の已むなきに至つたもので四肢の中一肢を切斷した者は十名に達し一人で二ケ所以上の創を負ふた者百五十名に上り一人にて一番澤山創を受けた者は五十四ケ所の多きに上つてゐるが幸ひ全快したので喜んでゐる

第一表收容患者總數　一二七八名

區分	人數
戰傷	四六四名
凍傷	九一名
傳染病	二一名
平病	七〇二名

内譯　取扱患者總數二三一六名　他ニ中繼患者一〇三八

第二表戰傷者創傷ノ種類（全戰傷者創傷別百分比）

戰傷別區分	銃創	砲創	白兵創	爆創	介達爆創	其ノ他
新京分院	七六、九	一四、八	二、九	一、五	〇、八	三、〇
日獨戰役日軍	七九、一	一七、五	〇、九	二、五	（〇、九）	
日露戰役日軍	三七、四	五七、一	五、二	〇、三		
歐洲大戰 佛軍	二三、〇	七五、〇	—	—	—	二、〇
英軍	二〇、〇	七五、〇	—	—	—	五、〇
米軍	三三、〇	三六、〇	—	—	—	〇、五
ハンガリ軍	三二、〇	一〇、〇	瓦斯五〇、〇	—	—	六、〇

第三表受傷ノ部位別（部位別百分比）

部位別區分	頭部	頸部	胸背部	腹骨盤部	上肢	下肢
新京分院	七、八	一、九	一三、二	九、三	二九、七	三八、一
日露戰日軍	一九、三	一、八	一四、二	八、〇	二九、七	二七、〇
歐洲大戰 佛軍	一六、〇	一、二	一三、〇胸	四、〇腹	三四、〇	三三、〇
英軍	一〇—二〇		五—一〇胸	六、〇腹	七〇四肢	
米軍	一三、五	二、二	一八、八	三、九	三二、二	二七、三

第四表受傷組織ト臟器%

部位別區分	軟部	四肢骨	頭胸腹臟器	顏頸ノ骨及貴要器管	血管神經
新京分院	七二、二	一六、四	六、九	三、四	二、三
日露戰日軍	五七、一	三三、〇	二、三	四、八	二、六

第五表戰傷者ノ轉歸

轉歸別區分	治癒	後送	事故	死亡	在院
新京分院	二四、八	六九、四	〇、七	二、三	三、〇
日露戰 戰地	一一、七			五、九	
日露戰 内地	二八、一			〇、八	

米露招請以外

解決の主旨で進め松岡代表に回訓

（東京廿一日發國通）昨日の十九ケ國委員會で我對策の討議拒否され、十二月十五日の決議原案中「米露招請以外全部受諾す」との最後的通告をなした」との松岡代表よりの請訓は正午外務省に到着した外務當局は直ちに左の回訓を發する筈

一、十二月十六日の訓令の通り修正削除を要求するも、圓滿な結果に到達するためには若干の點は緩和するの用意はあるから、帝國代表は右互讓の主旨を體し努力されたし

三項に失敗し

第四項の手續き開始　委員會新提案を歡迎

（ジュネーヴ廿一日發國通）本日の十九ケ國委員會は今日松岡代表がイーマンス、ドラモント兩氏に宛て通達された該國の確答を審議したがこれを不滿足とし結局今や規約十五條三項の和協手續きは事實上失敗に期したものなりと言ふ意見一致し愈々十五條四項に基く手續きの審議を開始して二十三日更に會議を再開し最後の決定をなすこととなつたが其間第四項に基く報告書に關し二項の試案を作成、明後日の會議まで各委員會に配布することとなつた

右報告書の方式内容は絕對に秘密にされてゐるが、若し日支兩當事國のいづれかから新たなる和協の提案が提出されこれが解決の基礎を構成し得るものなれば委員會はこれを歡迎せんとしてゐる、今日の委員會を以上の結果を爲すに至つたが日本員會は以上の結果數項の點で委員會の受諾し得ないものがあり取りあへず十五條四項に依り報告書を作成の豫備行動に入ることとなつたのである

和協努力も尙ほ棄てぬ

（ジュネーヴ廿一日發國通）十九ケ國委員會に於ける二時間半に亙る討議の結果日本案に不同意と決し第四項による勸告案と報告書の作成に着手する研究を開始すると同時に和協努力を放棄せぬことに決し二十一日午後六時二十四分散會した

第四項に移る準備か

（ジュネーヴ二十一日發國通）十九ケ國委員會は十二月十五日の決議原案と附屬理由書を二十一日午後八時公表したが右は第四項に移る準備を解されてゐる

松岡全權ドラモンド氏と會議

（ジュネーヴ二十一日發國通）松岡全權は午後六時半院内にドラモンド氏を訪問し委員會の結果に關する報告を受け會談十五分で辭去した

齋藤首相遂に辭職を決意したか

（東京廿二日發國通）齋藤首相は宮中に於ける新年宴會の失態以來自責の念にかられ、速かに非常時内閣としての責任終了次第責任を執るべく決意し、豫算案でも成立すれば適宜の總辭職の擧に出るのではないかとの推測を下してゐるものも

八年度總豫算案提出

（東京二十一日發國通）政府は二十一日衆議院に八年度歳出入總豫算案、各特別會計豫算を提出した

毎日六、七千元の收入

呼海線漸次好調

（ハルピン廿日發國通）呼海鐵道昨年中の營業成績は水害と兵變の影響を受けて甚しき悲境に陷り日々の最低收入は漸く著しく五、六百元といふ運轉開始以來未曾有の減收を示したが本月からめんきり地方の平靜に歸するに伴ひ旅客も增加し而も各種取扱貨物類も漸く增加を見るに至り每日の平均收入は六、七千圓を上下するに至つた而も同各驛の滯貨は約五萬二千噸に達して居るので鐵道當局は本月十七日から特別列車を運轉して輸送に努めて居る

十九國委員會聲明書を發表

會議の經緯に關して

（ジュネーヴ廿一日發國通）十九國委員會は會議散會後左のコムミユニケを發表した

委員會は本日の會議に於て委員長並びに事務總長に對し日本代表から日本政府は假令非聯盟國の參加招請を決議理由書から削除されても昨年十二月十五日の決議案を受諾しざる旨を聲明せることを諒解した、日本代表は協議の後委員長に面會の上昨日日本代表が通達した二案は本國政府の承認を得た旨通告し更に以上の日本政府の新提案並びに十九ケ國委員會が兩當事國に通告した修正文に對する支那側の修正案を合した後兩當事國の受諾し得ることの出來ない諸案を調することを述べる外なきに至つた（中略）日本は此の原案に重大なる變更を加ふべきことを要求した斯る事態の下に委員會は紛爭解決の手段を總會に提出する企圖は失敗に歸したと思惟されのる斯くて理事會が同一の結論に到達するであらうとの假定を考慮するの餘儀なきに至つた、委員會は昨年三月十一日に決定された趣旨につき第十五條第四項に規定されて居る報告書起草の準備を開始するに決し委員會は當事國が二十三日午前までに通告せんと欲する事あるべき場合は之を歡迎するものである

日支何れかに新提案を出せば展開の餘地

（ジュネーヴ廿一日發國通）十九ケ國委員會の二十一日の決定は和協的努力に終つたとしたが若し日本か又は支那が和協の基礎として容認し得べき案を出せば門戶開放の餘地あるものと解せられてゐる

二十一日の十九ケ國委員會

（ジュネーブ二十一日發國通）問題の十九ケ國委員會は二十一日午後四時八分事務局内議場で開會審議二時間十三分に亙り六時二十一分散會した二十三日再會の筈

十九ケ國委員會二月に總會を開く

（ジュネーブ廿一日發國通）十九ケ國委員會は二十三日の會議後はしばらく休會し二月委員總會を開催する見込である

國境を越えた結婚を奬勵す

横濱の支那副領事が日支親善眞髓を說く

（長岡廿二日發國通）新潟縣在住の中華民國人から成る同志會華僑聯合會總會は二十一日午後三時綠町の元三四亭に於て開催し出席者全員五十名、當日特に横濱支那總領事館より張副領事出席し、會場正面に孫文の像を掲げ左右には孫文の遺訓並に中華民國國黨萬歲等の掲示をなし、議長進行挨拶も總て日本語で行はれ、張副領事も同樣巧みな日本語で日支間の眞の親善を結ぶには諸君の中の獨身者は須らく日本婦人と結婚すべし、親子夫婦の關係を生じこの情愛からこそ兩國の親善が結ばれると日支親善の眞髓を說き參會者に感銘を與へ終つて座談會に移り和氣靄々裡に散會した

ロシアの製油高

戰前の十三倍

（ハルビン廿二日發國通）去る一九一七年度にかけるロシアの製油高は廿萬四千噸であつたが、一九三二年度に於ける揮發油の產高は二百六十七萬七千噸に達し戰前の十三倍に激增して居る

滿洲國は滿蒙人の爲に

在熱河の蒙古人勇躍す

（ハルビン廿二日發國通）當地に達した情報によれば、在熱河蒙古人はこの程「滿洲國は滿蒙人のために」との標語の下に反湯玉麟運動を起しつゝありといふ

東鐵の米運賃値下計畫

（ハルビン廿一日發國通）東支鐵道の米類運賃は從來普通穀類に比較して約二倍以上を徵收されて居たが、之がため米類輸入に非常な影響を來し食糧價格の騰貴の原因を爲すので同鐵道理事會では運賃審

熱河反軍の内訌愈々熾烈

（錦州廿一日發國通）熱河城を中心に集結された湯玉麟の正規軍、義勇軍總數十六萬の多きに達し些細な關係より動搖し内訌愈猛烈となつた

盛京時報擴張

盛京時報新京支社へ今度黑田一男氏が入社、同社員吉田凱氏が同伴、關係方面へ挨拶に歷訪した

故萬繩栻氏追悼會

故執政府秘書萬繩栻氏の追悼會は二十二日午後四時から南門外關帝廟で執政名代許寶衡氏を初め大官參列盛大に執行された

人事往來

▲村田錦麿氏（滿鐵囑託）二十一日午後十時南行
▲岩井勝次郎氏（大連在鄉軍人分會長）二十一日午後十二時三十分南行
▲山下總三郎氏（山下汽船社長）二十一日午後四時三十分南行
▲井上中將（守備隊司令官）二十二日午前八時來京同九時南行
▲閻奉天市長　二十一日午後七時五十分來京

天氣豫報

二十二日の氣溫最高零下十一度四最低同二十一度二、二十三日の天氣南西の風晴れ

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	一二〇〇	コチ	二〇
氷鯛	八〇	キス	二六、五〇
チヌ鯛	二六、三五	ハゲ	五〇
小鯛	六〇	オコゼ	二六
マグロ	一二〇、六〇	ムツ	二三
サバ	一二八	サヨリ	四〇、七〇
アジ	二三	カナガシク	一六
カレイ	一二七	タコ	一二三
ヒラメ	三五、二一	甲イカ	九〇、二〇
ボラ	一二	小イカ	三〇
伊勢蝦	一九〇〇	車蝦	一八五、一〇〇
アナゴ	一三五	貝柱	五二
赤ナマコ	六五	アワビ	四五、六〇
カキ	三〇	シジミ	一〇
カマボコ	一〇三	サクワ	九
ホタテ貝	一六	水イカ	二〇
ナマコ	二五	干イワシ	一三
ヤマメ	一三		

開店御披露

すし　天ぷら

純東京式　原料は最高のもの產地より取寄せ、板場も東京から來て居ります

丼類小鉢もの　上品で安くて美味で輕便です、出前は遠近に拘らず迅速に御屆け致します

何卒純江戶前を御覽下さい

三笠町三丁目　花菱　電話三二九七番

家族的……皆様の食堂

お心付は一切受けません

開店致しました

定食　朝十五錢　晝二十五錢　夕二十五錢

御手輕御料理　一品洋食　丼類一式

御家族樣御揃で一度是非御立ち寄の程を……

日本橋通り（郵便局前）　志賀の家　電話二四六九番

鄕里實母病氣ノ爲歸國年始モ欠禮致シ且ツ患者各位樣ニ御迷惑ヲオカケシマシタ事略儀ナガラ紙上ヲ以テ御詫ビ致シマス　昨日歸院診療ニ從事シテ居リマス

蓬萊町一　電話二四五六　松崎齒科醫院　院長　松崎義廣

絶好の天候に惠まれ けふ戸外デー

朝來押寄せる人人で スケート場、西廣場校滿員

廿二日全滿一齊に行はれた戸外デー、この日新京は絶好の天候に惠まれ、日曜日のこととて早朝から西公園スケート大會場目指して老若男女をさはず輕裝な姿でスケート靴を片手に續々と押寄せた。滿鐵側では押寄せる人々を焚火で迎へ定刻既に大會場外は人山を築いた、午前十時競技開始の合圖と共に選手は會場に整列し、主催者側から宮地社會係主任の挨拶があり、終つて玉拾競技に移り、華々しく火蓋は切つて落された。なほこの日新京美術協會主催の美術寫眞、日、洋畫展覽會場にあてられた西廣場小學校講堂にも人の波をたて新京の人々は一日を有意義に送つた

警戒は嚴重 だがコソ泥はたえぬ 舊正と警察と被害と

焦眉に迫つた舊正月に新京署では市中の警戒に全力を集中し寸分の隙もない程嚴重な警戒網を張つてゐるが、大膽にもこの周到な警戒線をくぐつてコソ泥が出沒し、不注意の邦人宅を襲ひ司法係には毎日間斷なし盜難屆が提出され、刑事連は東奔西走汗だくの活動を續けてゐる其の內でも相當被害額の多いのを揭ぐれば

▲新京室町三丁目白橋伴太郎氏所有の西廣場仕事場の塗料五個時價百圓が二十一日何者にか盜まる

▲城內東四馬路土木建築請負業宮津太一氏は二十二日午前十時から十一時迄の不在中にトランク在中の十圓紙幣十枚が盜難にかゝる

▲曙町四丁目長谷川重登氏は二十二日午前十一時から一時迄の間にトランク在中の現金二十圓と男物羽二重紋付一枚、羽織三枚、男物絹單衣二枚、額面九十五圓の郵便貯金通帳及實印認印各一個が窃取さる

赤の魔手 入國禁止の規則を作る滿洲國

最近露支國交回復により俄然赤の活動露骨熾烈となり既報の如く北平に於て日滿要人暗殺團が組織されたが此外便衣隊外國のスパイ等の潛入頗る多く之が取締規則を滿洲國民政部警務司に於て作成中の處漸く外國人入國取締規則を完成民政部を通過した、內容は未發表であるが近く發表される筈である、なほ旅券規則等も作成中である

領海測量の嫌疑で 露國捕鯨船回航

〔東京廿一日發電通〕ソヴィエートの補鯨船アリユート號(九千噸)外三隻(各二百六十噸)は昨年三月突如小笠原島の父島二見港(不開港)に入港農林省監視船駿鳥丸及警視廳外事課で取調べの結果先づ右四船を橫濱に回港せしめ調査する事となり、廿一日午後一時父島を出帆、廿三日橫濱に回航する事となつた、アリユート號には百廿八名の船員(內婦人十名)及共產黨員を含むあり領海測量の嫌疑が深い

吉敦線の列車事故 機關士死亡

二十一日午前十時三十分六十一列車が隆潭山、江密峰間百三十四キロの地點に於て脫線に異狀偉人、機關車及貨車五輛脫線顚覆し機關士死亡、機關方負傷の椿事を來したが、幸に乘客は無事だつた、原因はボイントの犬釘を拔きとり側線に開通しあつた爲であり右は地方土民か若しくは匪賊の仕業と思はれ目下嚴探中

公學校學藝會盛況

〔四平街支局發〕既報四平街公學校の學藝會は滿鐵クラブホールに於て開催晝夜共場外に溢れるばかりの參觀者を以つて埋め例年に見ない盛況にて好成果を殘して終了した

四平街滿鐵社員會

〔四平街支局發〕二十三日午後六時より滿鐵クラブホールに於て滿鐵社員會を開催し尙此の機會に一般の社員會に對する意見の發表並に社員會振興策に付き討議を存すと

四平街公會堂建設協議

〔四平支局發〕四平街公會堂建設期成會は二十三日午後一時より小學校に於て公會堂建設設計に關し協議會を開催す[illegible]

段祺瑞の南下 蔣と協議の爲

反學良派とも連絡か

〔天津廿一日發國通〕段祺瑞の南下に關し各方面の情報を綜合するに最近北支一帶の時局は何時爆發せんも計り難き情勢にあり奉天派內部では裏面的に時局打開策を講じ反學良派との合作運動を起しつゝあつたが同時に蔣介石との間にも諒解成立し愈々蔣介石の招電によりこれが具体的に協議の爲め南下せるもので南京に數日滯在、蔣介石並に中央政府當局と河北時局收拾問題を協議、更に上海に赴き二週間後歸津する豫定で在野舊軍閥各派の進出と各派一致團結打開にのらんとする合作運動は北支政局に重大化を及ぼすものとしてその成行重大視さる

宮中御恒例 歌會始の儀

〔東京二十一日發國通〕昭和八年の聖春を壽ぐ勅題「朝の海」の披講さるべき宮中御恒例の歌會始の儀は梅花馥郁と香る二十一日午前十時より宮中鳳凰の間に於て天皇、皇后兩陛下出御の上雅びやかにはられ、御製歌はじめ四萬の赤子よりの詠進の榮えある撰歌は陛下の御前に披講された、この朝來梅句ふ御內庭に面した御儀の間は式部職員等の手で萬端舖設を終り畢れ、點者の入江御歌所長以下讀師、講師發聲講頌の諸役は十數名の陪聽者と共に定所につき兩陛下の出御を待ち奉る同十時天皇陛下には陸軍樣式通常禮裝にて林式部長官の御先導、鈴木侍從長以下の供奉にて、また皇后陛下には御洋裝にて廣幡皇后宮太夫の御先導、竹屋女官長以下の供奉にて鳳凰の間に出御中央御座に着御遊ばさる

かくて光榮の讀師は、兩陛下の御前中央の机案に進み、講師は「年の始の仰せ言によりて朝海と謂へることを詠める歌」と朗詠、一般詠進の四萬餘の中から選ばれた光榮の撰歌を披講、次いで各皇族殿下に及び更に皇后陛下の御歌を三度び披講、更らに一段と聲高らかに天皇陛下の御製を五度にわたり莊嚴かに奉讀、御儀は同十一時三十分莊嚴裡に終了、兩陛下入御遊ばされて式を閉ぢた、奉仕の諸役には御饌勞の思召しで賜饌があつた

御製及び御歌

〔東京二十一日發國通〕宮內省發表二十一日午前十時御歌會始の御儀行はせられたり

御製

天地の神にぞ祈る朝風の海のごとくに波たゝぬ世を

皇后御歌

初日かげ海より出づるのどけさに年も心もあらたまりけり

大勳位雍仁親王妃勳一等勢津子

大舟のつどふ港のあさぼらけ笛の響きももやにとけつつ

海軍大尉大勳位宣仁親王

夜明くれば浪みな靑し船のさきに白き泡のみ見えつ海路は

宣仁親王妃勳一等喜久子

富士の根の雪より明けて風渡る葉山の海に朝日かゞやく

山海關 戰鬪の 忠勇美談(F)

君は昭和六年一月十日壯丁として入隊するや温良常によく上官の命に服し一意自己の任務に努力し、勞苦を厭はず昭和六年十一月擢ばれて鈴木○○團に屬し、滿洲に派遣せられて以來、奉天、「チチハル」に復たは莊河に轉戰し、又○○隊主力の來着すゝや錦州の警備に服する等、此間常に積極的勤務に服し一般の模範であつた、偶々昭和八年一月三日山海關事件突發し之を攻擊するに當り、○隊攻擊正面の最右翼分隊たりし輕機關銃射手として、斜射縱射側射と各方面より飛來する敵彈中にあつて泰然射擊を繼續し、適時適切なる目標を求めて射擊し、其の命中亦確實有效為に一時正面にある敵機關銃を沈默せしめ以て中隊の前更に陛下の萬歲を繰返して一言私事に及ばず「殘念」の一言を殘して手厚き看護も其の甲斐なく、遂に午後○時四十分瞑目するに至る、本人の死や眞に哀愁の極みなりと雖も其の勇ましき最後こそ只誠只忠、其の功績は永久に靑史を飾りて後世の鑑となつて護國を守護すべきを信ずべきものがある進を容易ならしめた

而して更に右方よりする敵の一彈飛來してお胸部に貫通銃創を受け遂に起つ能はず、然れ共責任觀念旺盛にして尙銃を堅く握つて放たず、參現の間「殘念、殘念」と呼びつゝ遂に瞑目するに至つた

君の平時身を持するや温厚誠實而も彈雨の間に立ちては大膽にして沈着よく有效なる射擊を以て敵を苦しめ死に直面して尙且一意職分の爲自己の責任遂成に努力せるは永く傳えて吾人の鑑みとするに足る

◎重傷を負ひ軍旗を拜するや瞑目す

—兵第〇〇〇〇隊故櫻井曹長—

昭和八年一月三日午前八時より金城鐵壁難攻不落と敵も自負しまた昔時より「一夫關に當れば萬夫亦開くなし」と言ひ傳へられし山海關城の攻擊に方りて本人は先任分隊長として石田中隊右第一線干泥小隊の指揮に屬し、六角堂東南角に向ひ前進又前進敵城壁を隔る約百米に近接し砲兵の破壞射擊と共に高さ三丈に餘る城壁の攀登突入の準備に入り當に突擊せんとする時不幸敵彈の爲腹部を貫通せらるるに至つた

此の瞬時に於ける本人の行動は偉大なるを稱せざるを得ざらしむるのみならず、衆人の涙をそそらしむるに十分なるものがある、即ち本人は腹部に貫通銃創を受け倒れた起つ能はざるを察するや銃を高く揭げて陛下の萬歲を三唱して更に中隊長が現場に走りて之を見舞や「隊長殿に對し申譯なし」と更に萬歲を三唱しつゝ部下を督勵し、時會々突擊の爲前進し來りし軍旗と聯隊長の前に一言に接するや※

山海關の郵政事務 滿洲國で取扱

〔山海關廿一日發國通〕日本軍占領後の當地は漸次秩序恢復され住民は安心して其業に復しつゝあるが、郵便は中國郵便局員の逃走のため不便勝たからず依つて奉天郵政管理局より人を派し來り城外南關の元慶源久棧を事務所として滿洲國郵便電報の事務を開始した

歸順か反逆か

崔、李、馮の鬪爭激化

〔奉天廿一日發國通〕開魯附近に集結して張學良の煽動に乘り反滿態度を續け宣傳ならんも通遼、洮南を逆襲するとの氣勢を揚げてゐた崔、李、馮解等を頭目とする僞勇軍と匪賊の一味は一部の混合軍を組織して通遼に向け東進せしめる一方地盤掌握を起しつゝあつた處前日我が飛行機の爆擊に遭つて大混亂を起し熱河軍の崔興武部下の一部が城內にかん張つて居る外李海靑、解國臣等の匪賊は八方に逃走し山間の小部落に多數の逃匪が侵入して掠奪を行ひつゝあり一面各匪首の間には依然反滿態度に出でんとするもの、此際歸順せんとする分子と兩者の爭を續けて同地方の地盤を自己のものとせんと策動しつゝある三者の爭鬪は今後益々激化する傾向があり其の成行は注目されてゐる

このまゝ推移せば 學良引込つかず

南京政府は山海關事件以來張學良に積極的抗日の命令を下し中央軍の北方進出を叫び、九江より下行して來た軍隊を津浦、滬寧線方面に移動した陝西省の共產軍は兩び活動を開始し、勢旺盛で宣言を公表し挑戰的態度を表し南昌も危險に陷入つたので、津浦滬寧線より長江の上流に移さんとした、斯のかく蔣は進退兩難に陷入り、加ふるに共產軍と對抗せる中央軍の給料へ渡にて不平の聲あり、蔣介石も金策の爲南京に歸つて來たが軍費の調達意の如くならず、宋子文が今回上海に來たのも金策の爲にある、張學良は中央政府の命令と國民に對する面子の關係上思ひ切つた抗日の態度に出でゝゐるが、今に引込がつかなくなるものと見られてゐる

鄭桂林軍に 石門寨奪回を命ず

〔山海關廿一日發國通〕我軍のため九門口を追はれた僞勇軍第一軍長鄭桂林は石門寨の西方から界嶺口一帶に敗退して居るが張學良から九門口を失つたことを問責された返答に武器彈藥不足と回答した處前日學良から小銃六百挺、彈丸二萬發を新たに支給し失地回收を嚴命されたので部下に對して九門口と山海關奪回の出動を命じたといふ、聞くに石河に西に集結した學良正規軍が山海關を攻擊すれば日本軍の猛攻を受け平津ヶ失ふかも知れないので正面反擊を不利とし僞勇軍を煽動して石門寨方面の山地から山海關を擾亂せんとする學良一味の常套手段に出でんとするものと見られて居る

サテ優勝盃はいづれへか?

時とともに白熱化しゆく 本社主催圍碁大會

新春勝圍を飾る本社主催の圍碁大會は二十二日正午から富士町三丁目料亭千鳥で全市はもとより公主嶺、鐵嶺、四平街の天狗連は「吾れ優勝盃を手にせん」ものと意氣揚々として定刻前既に會場につめかけた人々は百余名に及び會場內では碁盤に近より白、黑の石を手にしてパチリ／＼とすすべ手を習ひ、場は早くも殺氣を漲らした、全場にかけられた大時計が定刻正午を指すとともに田中本社員挨拶をなし、終つて審判小平總治、中島比多吉幹事出原稔三氏の下に大會は若干そしく開始された、五連勝の優勝盃は果して何人が獲得するか優勝盃を巡つて試合は白熱化していつた

在留地徵兵受驗者心得

一月二十日附關徵第十八號を以て昭和八年度在留地徵兵身体檢查受檢者心得を關東軍司令部から發表されたがその全文左の如くである

在留地徵兵身體檢查受檢者心得

兵役法施行規則第百八十一條に依り關東軍に於て統轄すべき昭和八年度在留地檢査に關し左の通定む

昭和八年一月十五日 關東軍司令官 武藤信義

第一 一、檢査地及檢查執行期日と檢查場を設くる地左の如し

旅順、大連、大石橋、鞍山、奉天、安東、鐵嶺、新京、哈爾賓、芝罘、靑島—出願者三十名に達せざるときは附近の檢査場に集め執行す

二、檢查執行期日は五月中とし其の日時は三月中旬決定の上身体檢查通達書を以て本人に告知す

第二 檢查願

身体檢查を受けんとする者は左の區分に依り在留地檢查願(別紙樣式二)二通を二月末日迄に到著する如く差出すべし

願出人 關東州、滿洲(間島及哈爾賓附近を除く)に在る者

願出先 關東軍司令部(哈爾賓、沿海州、芝罘、靑島方面略)

第三 在留地變更屆及取消願

第二項の檢查願を差出したる後在留地を變更したるときは在留地變更屆一通を、本籍地受檢の爲檢查を取消さんとするときは檢查取消願一通(檢查通達書を添付し)を最初願出たる軍司令部若くは領事館に提出すべし

第四 第二及第三の願書中軍司令部に差出すものは所轄民政署、警察署、領事館を經由するものとす

第五 其の他事故生じたる場合

第二項の檢查願を差出したる後傷痍、疾病、犯罪其他の事故に依り檢查を受け難きとき若くは願書記載の事項に異動を生じたるときは直に第四に準じ軍司令部又は領事館に屆出づべし

別紙樣式 (用紙半紙白紙)

在留地檢查願

本籍 地府縣郡市區町村番地

在留地 何々(詳細を記入すること)

戶主「長(二)男」「兄(弟)」

本人戶主なるときは戶主と記すべし

氏名 年月日生

右在留地に於て徵兵身體檢查受檢致度候に付御許可相成度候也

年月日 本人 氏名 印

關東軍司令官(何地領事官)宛

滿二十歲未滿にして現役を志願せんとするものは兵役法施行規則第三十條に依る徵兵適齡未滿現役願及身上細書を又陸軍補充令施行規則第八十二條に基き幹部候補生たることを志願する者は同規則第八十三條の檢査願を携帶の上任意の檢査場に出頭し檢查を受くべし

大連ヤマトホテル 新京に再現す 國都ホテルのグリル

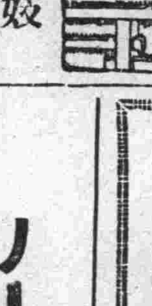
新京中央通り、新京神社に向つて左側の一廓に堂々たる三階建、千葉修一氏の經營する國都ホテルは先頃開業したが國都ホテルの名に背かぬ設備萬端、善美を盡した和洋の卅數室、調度はすべて內地から取寄せた贅澤なもの、殊に廿二日から開業したグリル、ルームは主任に大連ヤマトホテルのグリル、ルームの主任だつた、落合幸之介氏が當り又コック長コック、女中等に至るまでヤマトホテル系のものが多く、洗練されたサービスぶりは痒いところへ手の屆く感がある、因に千葉氏は家業の特產商に專念し、ホテルの方は支配人長谷川一雄が一切を擔任すると

楢岡氏の住所

前新京地方事務所長楢岡茂氏は目下神奈川縣鎌倉小町四五三西季廣氏方に滯米の準備中で三月初旬出發の筈尙同氏は滿洲國々務院總務廳囑託されたので本務の傍ら滿洲國の紹介宣傳に努めると

三共建築事務所

合資會社三共建築事務所と云ふのが出來た、主任者は建築大會正員技師佐藤武夫氏で土木建築の設計監督測量製圖家屋鑑定、構造計算等に親切に取扱ふと事務所は三笠町三ノ一、丸新舘內



罪のない妓

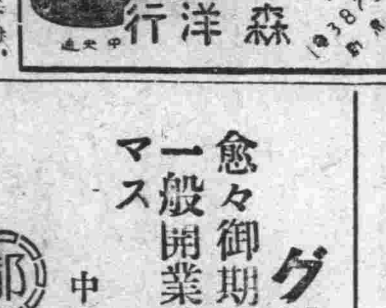
曙の幾松ものがたりのつゞきです、幾松さいふとすぐに思ひだす、勤王藝妓幾松、桂小五郎をたすけて……講談や映畫でおなじみの名ですな、話は少く脫線しましたから元へ戾つて……この曙の幾松、二十一といひますがなかなかおもしろい賑かな妓です、突飛なことを平氣で云つてのけて朋輩の姐さんたちの眼を瞠らせてゐます

×

チヤブ台に兩手の掌を內側に向けて指先をつき頭を下げ、あたい生國は大阪にござんす大阪と申しても廣うござんす大阪は天王寺、なんて例の筋撲の眞似をする、芝居の眞似をする一刻もじつとしてゐません

×

何しろ新京に來て間がないので、何でも正直にうけいれるこころはすなほなものです、こないだの晩もあるいたづら好きなのが、北門外の料理屋の主人だと云つたところが、すつかりそのつもりで、おとうさん、ねへおとうさん、と罪のない、こゝ



ラジオ欄

二十三日(月)

奉天後五、〇〇 レコード 錢行 金銀相場商業通信

新京後五、二〇 演藝

新京後五、四〇 講演 傳染病豫防に就て、首都警察廳衛生科長 游博楚

東京後六、〇〇 ニュース 東京中央放送局編輯

東京後六、二〇 時事解說(朝鮮語) 氣象豫報及滿洲語ニュース

新京後七、三〇 ニュース(英語)

新京後七、四五 ニュース(露西亞語)

新京後八、〇〇 ニュース(朝鮮語)

新京後八、一五 ニュース 氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告

東京後八、三〇 時報

東京後八、三二 ニュース 東京中央放送局編輯

女店員募集 希望者は本人來談

新京百貨店 洋酒部 戶板

1933年の……

魁スタイル 日滿一貫の流行柄

近々豐富入荷

本年は各種生地に可成の高騰を報じてゐます

新京三笠町二丁目

洋服材料商 松田洋服店 電話二一四六番

父仙松儀豫テ病氣ノタメ滿鐵病院ニ入院加療中ノ處藥石無効本二十二日午前二時十五分死去仕候間謹告仕候

追テ葬儀ハ途中行列ヲ廢シ明二十三日午後三時半祝町於西本願寺相營申候

昭和八年一月二十二日

新京吉野町二丁目

東 初子

東 操

父大崎勸七儀舊臘來病氣加療中ノ處藥石効無ク去ル二十日午前十一時四十分齊々哈爾山谷病院ニテ永眠仕候間此段御通知申上候

追テ齊々哈爾ニ於テ火葬ニ附シ明廿四日午後三時半途中行列ヲ廢シ西本願寺ニ於テ葬儀執行可仕候

昭和八年一月二十三日

嗣子 辰也

親戚 大崎太十 松崎啓治

總代 大崎連城 林田英七郎 福田右一

友人總代 穴澤喜壯次 千田春次

印刷機械及材料 各種印刷と製本 御小賣 北原紙店 電話 二一四一 三七〇九

ノーチツプタイム開設

開店早々に拘らず毎日滿員の盛況を蒙り厚く御禮申上ます就きましては皆樣の御晝食の御便宜を計る爲め左記の時間をノーチツプタイムとし御奉仕致しますれば精々御利用の程願ひます

午前十一時より午後二時まで ノーチツプタイム

二葉ランチ(紅茶附) 金五十錢

レストラン 二葉

電話 三九四二番

吉野町三丁目(長春座前)

グリルルーム開設

愈々御期待ノグリルルームヲ今廿二日ヨリ一般開業致シマス 何卒御試食ノ程御願シマス

中央通三十五番地

(都) 國都ホテル

電話代表四四一五番

凄艶紅涙双（一八六）

鈴木彦次郎作　飛鳥久緒畫

「うむ、天晴れな御最期ぢや、驚くべき氣魄ぢや、星合氏、惜い人物を失ひましたなあ——だが御安心なされい、たとへ佐渡が同盟軍に參加なすとも女鹿氏の死は、決して無駄ではムらぬぞ、拙者、身に代へても、貴藩にかゝる忠烈な勤王の士であつたことを諸方に傳へ、多少でも、南部藩の立場が、有利になるやう、お取計らひ致さう」

廣澤は、感激にひたつて、決然と云ひ致つた

「忝なうムります、そのお言だけでも、籔之助の魂しいは、安らかに眠ることができませう」

靜かに、頭を下げた雄馬、やがて、涙を押し拭つて、つさ面を上げた

「かうなつた上は、手前に折入つて、お願ひがムります」

「ほう、改めて、何の御頼みぢやな」

「はツ、實は、此頃邸内の噂を承れば、先日、お國許より上京致した騎兵隊の一部、最近、北越に向つて、進發されるうにムりますが、何卒拙、者にも同行をお許し下さりませぬか」

「や、それは、たやすいことぢやが、貴公は、何も、危い戰場を馳驅するにも及ぶまい……この儘京師にとゞまつて藩のため、運動をつゞけられたはうが——」

「仰せ、御尤もでムります、だが決して、手前とて、友の死に、そゝのかされて、功をあせる譯ではムりません、むろん、天朝の御爲に、北越の野に奮闘仕りたい精神に變りはムりませぬが、一方手前にとつては、此の機會に、年來の望みを果したいのでござります。」

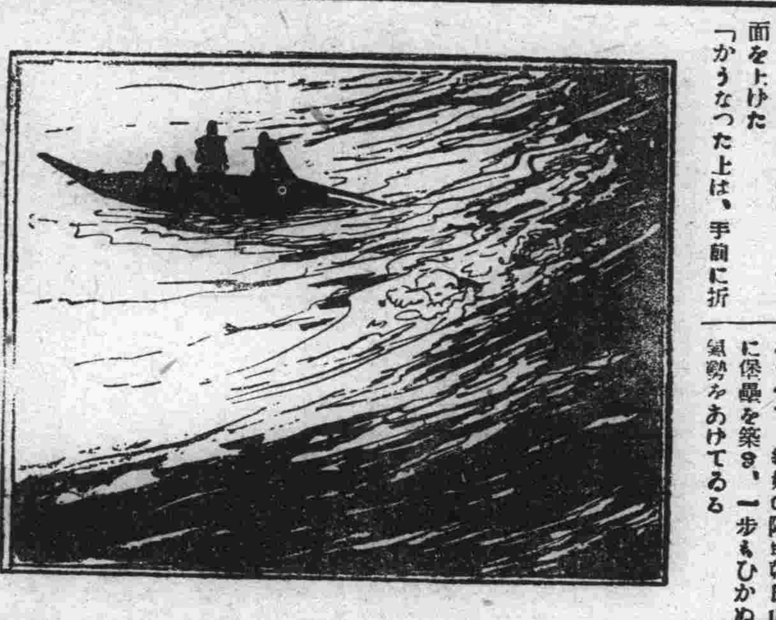
雄馬は、こゝに至つて初めて仇敵一條甲子松に關する一切の事情を申延べ、出征を切願した

廣澤は、愈々、雄馬の壯志に感動して、直ちに、快諾したあくれば廿七日の朝、勇名天下に轟く長州の奇兵隊八十名は、決死の意氣込みも鋭い雄馬を加へて河原町の藩邸を出で、隊伍堂々、京の街を北越に向つて進發した！

——雨は、止んだ。

けれど星一つ見えぬ眞闇な信濃川は、愈々、水かさを增し瀬鳴りの音も物凄く、濁流泡を嚙んで、北へ、猛り狂つて流れゆく

大河に馴れぬ西軍には、これが何より厄介な障害物、榎峠の激戰で、見事、大勝を博した同盟軍は、更に、攻勢をとつて、絶好の陣地朝日山に堡壘を築き、一歩もひかぬ氣勢をあげてゐる



その有様を、河をへだてゝ、ぼんやり、眺め暮す西軍の器量の惡さ！

「チエツ、此の水さへ、減すれば何の長岡勢如き！」

いまを時めく薩長兵など、殊に地團太踏んで、ぢれてゐたが、さいつて、無理に河をわたつて、漂ひよさんだところで、出水が邪魔して、またも後援つゞかず、榎峠の失敗を繰返すのが關の山！

だから、十一日、十二日——今日も、捗々しくない大砲の撃ち合ひで、空しく、日が暮れてしまつた

——既に、亥の刻も近く、野營の篝火も、漸く、絶えだえに、草を枕の武士の夢を破るは、がう、がうと鳴りひゞく水音ばかり。——

ひつそり、靜まりかへつた頃しも、突如、ギ、ギイツ——きしる艪聲も忍びやかに、こゝ西軍の陣營三佛生村の水際を離れて、激浪泡を嚙む中流へ漕出た一艘の小舟！

廣告

南滿鐵▷

大連開　周水子　金州　普蘭店　瓦房店　熊岳城　蓋平　大石橋　海城　湯崗子　鞍山　遼陽　蘇家屯　奉天到　奉天開　鐵嶺　開原　昌圖　四平街　公主嶺　范家屯　長春到

長春開　范家屯　公主嶺　四平街　昌圖　開原　鐵嶺　奉天到　奉天開　鞍山　湯崗子　海城　大石橋　蓋平　熊岳城

內科　小兒科　神精科　福島醫院　祝町太子堂前　電話二九五八番

內科、小兒科、產科、婦人科　善生堂醫院　日本橋通　電話三一七一番　入院隨意（日曜祭日午後休診）　免許 茂マキノ　產婆 吉井サミ

京城齒科 醫學士 田中勳　京城齒科 醫學士 松本政俊　齒科一般　口腔外科　小澤醫院　診療時間 自午前九時至午後六時（日曜祭日午後休診）　吉野町一ノ一四　電話三二四五番

診療受付　正午より午後三時まで　內科　小兒科　杏林堂醫院　內科、小兒科　醫師　堂脇サト子　電、二五二〇番　隨時往診の需に應ず

日本橋詰新京ビル二階一號室　齒科一般　口腔外科　村田醫院　日本齒科醫學士　村田儀平　休診日—每週月曜日祭日

皮膚、泌尿科　外科、性病科　同仁醫院　富士町二　話二六〇六番　診療（自午前九時至午後五時）日曜祭日午前中

宅診　午前九時より午後二時まで　往診　午後二時より午後六時まで（急患此の限りにあらず）　診療種目　內科　小兒科　花柳病　槇醫院　新京祝町二ノ一二（中央公館東隣）　電話三七八四番

產科　婦人科　堀山醫院　蓬萊町一丁目　電話三一八〇番　入院隨意　日曜、祭日午後休診　免許 天野ヲサヱ　狩野善惠　產婆 小野ヒサ子

內科　小兒科　性病　痔疾科　アヘン、モヒ　ヘロイン中毒　松本醫院　入院隨意　隨時往診應需　日本橋通郵便局前　電話三七五六番

齒科　口腔外科　早川醫院　院長 早川武夫　診療時間　本院 錦町二丁目　自午前八時至午後五時　分院 東三條通（當分休診）（日曜祭日正午迄、日曜祭日休診）

齒科一般　口腔外科　小兒齒科　齒科　安谷醫院　三笠町一丁目ヤマトホテル裏　東京齒科 醫學士 安谷勇次

羽根蒲團の購買會を初めました　御加入を願ひます　御一報次第お伺ひ申ます　吉野町二丁目（北滿旅館前）　羽根蒲團製作販賣　山本商店　取次 電話二三三一番

特急ハト　新京九時急行營業　和・洋・食　ベビーホール　急行サービス　ハト壽司……一人前三十錢　ハト壽司卷……一人前二十錢　●女嬢二・三入用　電話三八四六番　祝町一丁目三ノ三

社員募集廣告　希望者は履歷書携帶午前九時より正午まで御來談ありたし　新京大和通三三　明治生命保險株式會社　新京事務所

御藥の御用は是非御電話にて　電話 二四七六番　二六〇二番　吉野町二丁目一番地　東亞號藥房

お待たせしました、弊店獨特の『スターシユース』これこそ理想の防寒靴です澤山着きましたから一時も早くお求め下さい　和洋雜貨　廣春洋行　新京吉野町二丁目　電話三〇五二番

お茶　世帶道具、陶器類色々　三笠町二丁目　河久商店　電話三二〇四番

銘酒　月ヶ瀬　釀造元　森川長春支店　電話三八〇八番　曙町二丁目

盛京時報　本社 奉天　新京支社　祝町二ノ二〇　電話二五一七　創刊明治三十九年、滿洲に於ける漢字新聞として最古の歷史を有し、多年扶植培養せる信望と勢力とは確固不動、滿洲及び北方支那の言論界に於て、斷然之の王座を占む、實に滿洲の文化的開發と指導の最高權威也

會席料理　大辰　三笠町四丁目十四番　電話二九八八番

品質第一　米と酒の店　東二條通　西村洋行

最高率配當實行　保險は帝國　新京代理店　電二二〇一

明るく溫かく　新京ホテル　富士町二丁目角　電話二六〇一

初春の衣裝　新柄陳列　吉野町二丁目　㊅ 村岡呉服店　電話二二二四番

純洋風ハリウツド式　フリージヤ美容室　新京中央通大阪屋號向横町　新京常盤町一丁目六番地二

御待ち兼で——　「御座いました」　最新流行形荷揃　各種フエルト、ゴム底　履物各種　新京吉野町二丁目一四　㊂ 小林履物店　電話二三四四番　輸入組合加盟店

取引先信用調査　縁談調查及紹介　各種企業調查　人事秘密探偵　家屋及商品紹介　經濟事情調查　大正十年創業　全國各地同業聯絡　秘密嚴守　損害豫防機關　新京老松町十一番地　新京興信公所　電話三三五〇番